

【各議員・関係者の皆さんからよく聞かれた質問】

① 社会性について — ホームスクーリングで、真の社会性が育つ！

マガジン 43 号写真にて「実」をできるだけ紹介しています。写真は嘘がつけません。実際に会ってもいただきたく、チア・コンベンション（6 月 9-10 日 国立オリンピックセンター）の視察等、大歓迎です。

社会性を育てるための 2 つのポイント

- (1) 親・周囲から自分が愛されていることの実体験
— 自分が何者か、自分の使命の自覚
- (2) 隣人を愛し、助ける姿勢—他者との関係。口頭での説教ではなく、親の模範・反省・実践と犠牲による教育

② 学校を全否定するのか — 学校制度も必要です

憲法に基づき、教育の自由・多様性を認めることで、学校に通学させている親の教育への情熱も高まり、学校も充実し、日本の次世代の育成と成長に貢献すると考えます。

③ 「多様な教育」の選択は確信犯か

- 遵法精神に基づく選択です。憲法に裏付けられています
就学義務に矮小化されない普通教育義務を遂行しています

多様な教育の方法（フリースクール、ホームスクーリング等を含む）の選択は、憲法によって保障された教育義務の履行であり、親の責任と権利（親と子の「基本的人権（憲法 11 条）」）の下に遵法精神の中で行われています。憲法では、「個人の尊重（13 条）」「親の教育権（教育の自由）（26 条、民法 820 条）」や「思想及び良心・信教・学問の自由（19、20、23 条）」「基本的人権（憲法 97 条 侵すことのできない永久の権利として）」等において、教育方法の選択を保障しています。世界人権宣言 26 条でも、教育の選択の自由は保障されています。（詳細はチア・マガジン 43 号 p10-33）

④ チア・につぼんは、なぜNPOではないのか

チア・につぼんは、2000年に設立した全国のキリスト教系ホームスクーリング・フリースクールサポート団体で、活動はNPOに近いです。(サポーター数約2000家族、40校)しかし、NPOには「宗教行為」の禁止事項があります。チア・につぼんは、聖書を信じ、祈ることもします。教育団体として、嘘をついてのNPO設立はふさわしくないと考えました。宗教団体として登録もできますが、目的は宗教ではありません。学校法人としても、グラウンドや建物等が十分に無く、ふさわしくありません。それで一番、監査が厳しい株式会社(ホームスクーリング・ビジョン株式会社)を選択し、しっかり運営していこうと考えました。いつでも厳しい監査の中で、正直に正しく運営を図っていきたくて考えています。米国ほか、海外のホームスクーリング団体との交流は深いですが、経済的には、完全に独立採算です。(詳細はチア・マガジン43号 p34)

⑤ ホームスクーラーたちの進路等について

大学・短大・専門学校ほか、とても祝福されています。(詳細はp12。チア・マガジン44号 p20-21)

■チア・につぼんの現状は以下の通りです

現在のメンバー・サポーターは約2000家族・教会(約1万名)です。2000年に設立。聖書が教える教育の原点に立ち返ることを掲げ、日本の親子への子育て支援、チャーチ&ホームスクーリングムーブメントの啓蒙や励まし、環境整備等を行ってきました。

春はコンベンション(約800名)、夏はキャンプ(約200名)、秋はチア・オリンピック(約240名)、白馬セミナー(約450名)をはじめ、全国でのセミナー、キャンプ等、展開しています。

全国の親、祖父母、教育関係者、子どもたちを励ますために、出版活動にも力を入れ、「子育て」「夫婦関係」「青少年の男女関係」等の書籍や、三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』等の家族・教育的な書籍出版、「聖書」「りか」「世界史」等の教材、教育オピニオンマガジン『チア・マガジン』を発行(最新号は44号)、150を超える書籍・DVD聖書シリーズ等を出版しています。進学/卒業先は、以下の通りです。(五十音順)